

精神力の大切さ説く

バレー眞鍋前監督講演

大垣西濃信金

大垣西濃信用金庫は18日、バレーボール女子日本代表前監督の眞鍋政義氏を講師に迎えて講演。2008年の監督就任時に12年のロンドン五輪でのメダル獲得を目標に掲げた。身長差がある日本が勝つために「床にボールを落とさなければ相手に点は入らない」と逆転の発想で考え、男子選手の強烈なアタックをレシーブする練習を取り入れて鍛えたこと

眞鍋氏は「わたしの

取り入れて鍛えたこと



バレーボール女子日本代表監督としての経験を語る眞鍋政義氏＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル

を紹介した。

「監督は選手の気持ちを高めるモチベーター」として、選手を団結させるため、大切な試合の前に見せる選手の活躍を編集した映像も上映。「目に見えない力が生まれ、ビデオを見た選手が号泣している時は勝つ」とメンタルの大切さを強調した。